

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校関係者評価報告書

令和 2 年度

実施日 令和 3 年 5 月 16 日

※令和 2 年度学校自己評価（基準日：令和 3 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

令和元年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院熊本校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。本年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施してまいります。

本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様 や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和元年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校

校長・学校評価委員会委員長

高橋 淳二

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前に示し、令和2年5月16日に、卒業生、会計関連業界団体・企業等の委員にご参集いただき、令和2年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和2年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人近代経営 山元 佑太

税理士法人さくら優和パートナーズ 杉山 亜夢里

株式会社カネリョウ海藻 宮崎 康太

◆学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人近代経営 <https://kinkei-net.com/>

税理士法人さくら優和パートナーズ <https://s-ket.com/>

株式会社カネリョウ海藻 <https://www.kaneryo.co.jp/>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

評価者意見・質疑

- 設立当初の理念と変わらず、人間力と会計スキルの向上に取り組まれていると感じた。
- 新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動や外部有識者を招いた講演などができなくなっているようで、とても残念である。
- 学問的な取り組みについては、教材の質の向上や、フォローアップ体制の効率化などが行われており、学生サポートの充実が図られているように感じた。学生の満足度向上につながっていると思われる。
- 以前からの課題であるコミュニケーションスキルの向上については、一定水準の評価はできるものの、さらなる向上のための取り組み等が必要であると思われる。税務・会計のスキルとコミュニケーション能力の両方が備わってこそ、必要な人材となれることを学生に指導していただきたい。

学校からの回答

新型コロナウイルスの影響で学校イベント等も軒並み中止となり、学生の不安も大きくなっているように感じる。可能な限り、感染対策を講じて外部有識者を招き、学生に対して、実務における簿記の大切さなどを説明していただいたが、例年に比べると回数も密度も不足すると感じている。

ただし、最も重視している、授業後のフォローアップについては問題なく実施できたものと考えており、学習面に関してはほぼ例年通り対応できていると考えている。その他の学習面における学生サポートについても、充実には教職員が一丸となって課題に取り組んでおり、少しずつ成果が出ていると思われる。指摘いただいたコミュニケーション能力の向上を次回目標としたいが、新型コロナウイルスの影響で来年度も取り組みが制限される可能性があり、可能な範囲内で向上を目指したい。

基準2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

点検項目【2-09】人事・給与制度

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準3 教育活動

点検項目【3-14~19】目標の設定

評価者意見・質疑

□学校の教育目標は、従来から「社会で活躍できる人財の育成」ということであるが、簿記の資格があるだけでは活躍できる人財とは言い難いと感じている。これについて、資格取得以外に、具体的な指導内容はあるのか。

学校からの回答

まず、当校は、資格取得の指導方法に特長があり、単に検定試験で出題される項目のみを暗記させ、テクニック論のみの指導を行っているわけではない。学生自らが、解答を本当に納得できるまで理解させ、自ら最適解を導き出す思考プロセスを重視した教育を行っている。これにより、高い論理的思考力を持つ学生を育成している。また、講義中や学校生活を通じて、自らが興味を持って積極的に物事を学ぶように、積極性を高める指導を展開しており、いずれも、簿記のスキルに留まらず、社会で活躍するために、必要な応用力が発揮できるものと確信している。

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

評価者意見・質疑

□若い世代の基礎学力の低下が叫ばれており、大人数に対して一斉に講義のみを行うスタイルではなく、個別対応などを中心として、一人ひとりにあった適正規模の教育を学校の教育スタイルとしている点は、評価できる。

学校からの回答

今後もこの方針で運営を行っていきたいと考えております。

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【3-23～26】資格取得等の指導体制

評価者意見・質疑

資格取得に関しては、素晴らしい実績を上げられているものの、学生数に対しての専任教員の人数不足を感じる。ただし、人材不足はどの業界でも同じなので、難しい問題である。

学校からの回答

引き続き検討してまいります。

点検項目【3-27】教員研修等

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準4 学修成果

点検項目【4-28～32】就職率・資格取得率等

評価者意見・質疑

就職率、資格取得率は開校以来高い水準で推移していることは大変素晴らしい。
社会に出てからが勝負だと謳っているため、就職し、実社会で活躍することが大変重要であると思う。

学校からの回答

開校9年目を迎え、卒業生の活躍が評価されるようになり、卒業生の就職先から求人をお願いできるようになってきている。

点検項目【4-30】退学率の低減

評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業では友達を作ることが難しいといったようなニュースをよく目にした。また、そのような状況で、精神状態が芳しくないことから、学校を退学する学生が増加したというようなニュースも頻繁に放送されていた。そういった中、依然として退学者数は1人と低いことは評価できると思う。

学校からの回答

本校の取り組みとして、新型コロナウイルス感染症への対策を万全に講じたうえで、可能な限り対面での講義を行ってきた。その結果、ニュースで取り上げられているようなことは起きず、退学者数は1人とどまったのではないかとと思われる。今後も、感染症対策

を万全に講じたうえで、対面での講義を実施していきたいと考えている。

点検項目【4-31~32】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準5 学生支援

点検項目【5-33】就職等進路

評価者意見・質疑

新型コロナウイルスの影響もあり、全国的に就職活動は厳しい状況であったが、学生の望む就職先に就職できているのか。

どのような就職等進路支援を行っているのか。

学校からの回答

1年次から学生の学習状況に応じて面談を実施、本人の意向を確認し、面談内容は教職員内で共有している。卒業生の活躍もあり、様々な企業から求人を頂けるようになってきたため、就職先が確保できている。

点検項目【5-34】学生相談

評価者意見・質疑

学生が相談できる環境は整備されているか。

学校からの回答

全ての教職員が積極的に学生に対して声がけをし、気軽に相談できる環境を目指している。精神面でのストレスを抱える学生が増加する傾向がみられ、教職員の対応力を強化していく必要がある。

点検項目【5-35~38】学生生活

評価者意見・質疑

新型コロナウイルスがあつたが、すぐにリモートにて授業を実施し、十分な感染対策を行ったうえで対面授業を再開したため、学習が保障されており高く評価できる。

学校からの回答

新型コロナウイルス対応については、学校法人本部と連携して、一丸になって対応を協議したものの、なにぶん、初めての対応であり、情報も錯そうしていたため、急な決定になったり、その後、急遽変更になったりと、若干の混乱を伴ったのは否めない。今後に備えて、体勢について再点検していく予定である。

点検項目【5-39】保護者との連携

評価者意見・質疑

- 保護者との連携はどの程度とれているのか。
- 新型コロナウイルスの影響について、特に、一人暮らしをしている学生の中に不安を感じる学生も増えたのではないのか。

学校からの回答

コロナ禍という特殊な環境下で精神面に不安を抱える学生も少なくないため、不安を感じている学生については、保護者との連携を密に取り合っている。また、新型コロナウイルスの影響に関係なく、近年、精神面が安定しない学生も増えてきたため、今以上の連携も必要になってくると感じている。

点検項目【5-40～43】卒業生の支援、社会との連携等

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備等

- 新型コロナウイルス感染対策に関連して、どのような設備投資を行ったか。

学校からの回答

4月から一定期間、リモートによる授業を行っていたが、この実施に当たっては、収録機材（カメラやマイクなど）の整備があったため、比較的容易にWebでの配信体制を構築できた。また、対面授業での感染予防対策として、設備投資を行っており、一般的なアルコール消毒製品、非接触型体温計の完備、マスクの配布、紫外線殺菌機能付き換気装置の設置などの対応をはかっている。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

評価者意見・質疑

- インターンシップを経て、就職するという社会的な風潮がある中で、インターンシップをそこまで積極的に取り入れていない理由は何かあるのか。

学校からの回答

職業体験は、業務内容だけではなく職場環境に触れることができ、一定の重要性があると認識している。しかし、3月の就職活動解禁前にインターンシップに参加する場合、2月の検定試験と重なってしまう。また、3月以降も、会計業界が確定申告や決算時期と重なる繁忙期にあたり、インターンシップを行う企業が多くはないため、現状では参加することが難しい点が大きい。ただし、現状改善のため、企業と連携を取り、インターンシッ

プの時期調整も行っているところである。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な参加を促していない点を合わせてご理解いただきたい。

点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-47~49】学生募集活動

評価者意見・質疑

□今年度の卒業生は募集定員に満たしていたようだが、その他の年度は定員数の約6割前後と毎年学生募集には苦勞しているようだ。入学者は会計の重要性について理解していると思うが、特に、高校生に対して、簿記会計の重要性を理解してもらう広報活動を積極的に行うべきではないか。

学校からの回答

簿記という学問が今後、大学入学共通テストからも除外される見込みであり、軽視されているように感じている。経済活動があるところに簿記は必須であり、この事実をどのように伝えていくかが学生募集の重要なところである。まずは、オープンキャンパスへの参加者を増やし、高校生と接触する機会を増やす必要があると感じている。

点検項目【7-50】学生学納金

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

評価者意見・質疑

学校の立地条件を活用し、学校と地域とで連携した取り組みを行っているか。

学校からの回答

町内会より、定期的に教室を町内会議のために貸し出してほしいと依頼があったが、依頼後に新型コロナウイルス感染症が世界的に広まり、現状、凍結中である。これについては、地域貢献のため、前向きに検討している。

点検項目【10-60】ボランティア活動

評価者意見・質疑

学生にとってボランティア活動は社会や地域の交流にもつながる為、今後も継続していただきたい。

ボランティア活動を授業の一環として取り入れるなど、より積極的な活動と広報が必要ではないか。

学校からの回答

ボランティア活動を授業の一環として毎年、取り組んでいるが今年度は新型コロナウイルスの影響により多くの行事・イベントが中止したため活動できなかった。

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

評価者意見・質疑

学生のコミュニケーション能力など接遇能力の向上と授業で学んだ知識を広めるために

も、オープンキャンパスの学生スタッフを募集するのはどうか。

学校からの回答

今後の検討課題とする。

基準 1 1 国際交流

点検項目【1 1 -62~65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。